



クローズアップ
CLOSE UP

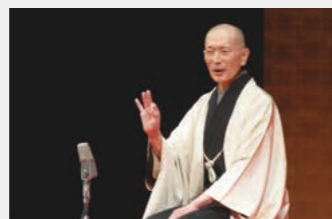
ツツジとヒツジ眺めて

6月中旬から見頃を迎えた、白樺牧場のレンゲツツジ。約10万本が群生していて、多くの人々が鮮やかな朱色の花を楽しんでいました。また、同牧場では6月1日からサホーク種のヒツジ5頭の放牧も。ツツジとヒツジの異色の組み合わせを、写真に収める人の姿も見られました。



不屈の人生に目頭熱く

5月25日に前橋シネマハウスで「戦火のランナー」特別試写会を開催。上映後にはシドニー五輪金メダリストの高橋尚子さんや南スーダン選手団のアブラハム選手、元JICA南スーダン事務所長の友成晋也さんをゲストにトークショーも実施。感動の実話に参加者は皆涙しました。



本市にまつわる話披露

6月20日に昌賢学園まえばしホールで群馬アフターデスティネーションキャンペーン記念落語会を開催。本市観光大使の三遊亭円楽さんと三遊亭竜楽さん、本市出身の立川がじらさんなどが、萩原朔太郎など本市にまつわる題材を用いながら落語を披露し、会場を笑いで包み込みました。

いきいき
まえばし人
ウクレレ国際大会で2位
星野 詠さん・14歳
七中2年

ピンチをチャンスに捉えて



ウクレレの国際大会「インターナショナル・ウクレレ・コンテスト オンライン」のグループ部門で、星野さんと玉村町の茂木さんのデュオ「レモン」が2位を受賞した。「2位に選ばれたことは、やっぱり悔しいです。でも、ハワイやマレーシア、フランスなどいろいろな国のプレイヤーの演奏を聞くことができ、良かったと思います。同年代でがんばっている人の姿が見られて、とてもいい刺激になりました」

ウクレレの国際大会「インターナショナル・ウクレレ・コンテスト オンライン」のグループ部門で、相方の茂木さんと会って練習することができず、ビデオ通話などで試行錯誤して大会に臨みました。星野さんらが挑戦したのは、ウクレレで三味線の音色を再現した楽曲。どうしても聞こえるか、二人で何度も工夫を重ねた。「私は、かっこいいウクレレを広めたいと思っています。私がウクレレを始めた時のように、今度は自分たちの弾いている姿が、他の誰かにとってのウクレレを始めるきっかけになったらうれしいです」互いを高め合う良き友と共に、星野さんの挑戦は続く。

旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は、青梨子町でエダマメを育てる田村純洋さんです。田村さんは2代続く農家を継ぎ、エダマメを中心に約3畝を栽培。早生で機械収穫に適した品種「初だるま」は、5月から始まった収穫が最盛期を迎えています。出荷までの作業で最も手間が掛かるのが選別。粒数・色・形・汚れの有無を目視で確認し、全ての項目をクリアした物だけがA品として出荷されます。「決して楽な作業ではないけれど、自分のエダマメを食べたお客さんや自分の子どもがおいしいと喜んでくれると励みになります。買ってってくれる人のことを考えると、大変な作業も手を抜けませんね」と田村さん。



現在は市場出荷が中心ですが、今後は「田村の野菜」として直売や通信販売にも力を入れたいと意気込みます。エダマメ生産が盛んな清里地区では、収穫体験や地元のエダマメで作るお好み焼き「きよさと焼」を通じて、幅広い世代に地元のエダマメが親しまれています。きよさと焼のレシピは二次元コードからご覧ください。



農政課
027-898-5841



田村 純洋さん